

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度		2024年度	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	子ども教育学科				
科目名称	子ども教育専門ゼミ I					授業形態	演習			
科目コード	750114	単位数	2単位	配当学年	3	実務経験教員		アクティブ ラーニング	○	
担当教員名	早川 純子								ICT活 用	
授業概要	<p>この演習では、専門分野の文献の読解を通して学術論文の論述形式を習得するとともに、課題探求能力を高めながら最終的に具体的な卒業研究のテーマを見出すことを目的とする。</p> <p>前期では、音楽教育に関する英語論文の輪読を行って、専門分野の知見を得るとともに英語のリーディングスキルを向上させる。後期は、まず研究論文レビューを一人2回行う。専門知識及び4年次の卒業研究に役立つアイデアや知見を得ることを目的とする。研究論文は、『全国大学音楽教育学会 研究紀要』および『音楽教育学』等の学会誌、また各自で関心のあるテーマで文献検索サイトから選び、所定の形式に基づいてレジュメを作成して発表する。発表に基づく討議を通して、問題を多様な視点から捉え明確化し、問題解決の方法を検討していく。以上のことを通して、問題設定の仕方、議論の進め方、音楽素材の実証的で多面的な分析の方法を習得する。最後の2回で、卒業研究の研究テーマ・キーワード・文献表・アブストラクト・章立てを考えて発表し、執筆に入る前の研究計画を立てる。また、適宜楽器演奏のレッスンも行う。</p>									
関連する科目	1年次に「子ども育入門ゼミ」を、2年次に「子ども教育プレゼミ」を履修しておくこと。									
授業の進め方 と方法	各回のテーマに関する課題の評価及び指導を「演習形式」で行う。 毎回、課題の提示・発表・提出を行い、参加者全員でのディスカッションを行う。									
授業計画 【第1回】	英語文献講読① 近代以降の日本の音楽教育史の概観									
授業計画 【第2回】	英語文献講読② 前近代でと近代の「音楽教育史」的断絶									
授業計画 【第3回】	英語文献講読③ 封建社会と民主主義社会での音楽教育のあり方									
授業計画 【第4回】	楽器演奏レッスン ピアノを中心とした楽器演奏の技術を向上させる									
授業計画 【第5回】	英語文献講読④ 音楽教育改革についての事例研究									
授業計画 【第6回】	英語文献講読⑤ 日本音楽に関する音楽教育史の推移									
授業計画 【第7回】	英語文献講読⑥ 日本の音楽科教育に関する成果と課題について理解する									
授業計画 【第8回】	学術論文レビュー① 各自で選択した論文について批評的読解を行い、全員でディスカッションを行う									
授業計画 【第9回】	4年生 卒業研究中間発表参加 様々なテーマやアプローチの方法を知り、卒業研究のテーマの参考にする									
授業計画 【第10回】	学術論文レビュー② 各自で選択した論文について批評的読解を行い、全員でディスカッションを行う									

授業計画 【第11回】	学術論文レビュー③ 各自で選択した論文について批評的読解を行い、全員でディスカッションを行う
授業計画 【第12回】	学術論文レビュー④ 文献レビューを通して様々なテーマやアプローチを知り、卒業研究のテーマを絞っていく
授業計画 【第13回】	4年生 卒業研究審査会参加 様々なテーマやアプローチを知り、卒業研究のテーマを絞っていく
授業計画 【第14回】	卒業研究テーマ・キーワード・文献表 発表 研究計画を立てるための準備を行う
授業計画 【第15回】	卒業研究アブストラクト・章立て 発表 4年次にすぐ文献調査および執筆ができるよう、卒業研究の計画を立てる
授業の到達目標	1. 文献講読に習熟する。 2. 問題設定と課題探求の方法に習熟する。 3. 楽曲分析とフィールドワークの手法を習得する。 4. プレゼンテーションスキルを向上させる。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(3)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(4)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外学習【予習】	発表の際は、レジュメを作成するだけでなく質疑応答にも十分に対応するために、対象論文を入念に読み込み理解して臨む必要がある。準備には十分な時間を確保すること。(2時間程度)
授業時間外学習【復習】	卒業研究のテーマを設定するにあたっては、その分野に関する参考文献を調べ、研究に必要な知識を習得する。自分の研究テーマに対する理解を深め、アイデアを得るためには、積極的に文献検索を行い、読む習慣を身につけること。(1時間程度)
課題に対する フィードバック	提出課題は、授業時間に評価・解説を行う。
評価方法・基準	参加態度：60%、発表：40%
テキスト	講読、レビューする文献は随時配布する。
参考書	随時提示する。
備考	